

マラリア

Malaria

マラリアは、熱帯・亜熱帯地域に広く分布する重要な感染症で世界100ヶ国余りの国々で流行しています。

WHO(世界保健機関)の推計では、全世界で1年間に3億~5億人の患者、150万人~270万人の死者があると報告されています。

また、そのうちの90%はアフリカ熱帯地方であると報告されています。

日本では感染者数が少ないために医者への認識が低く、風邪などと誤診されやすく、そのため、治療が遅れ死亡するケースもいくつか報告されています。



病原体

- ヒト・マラリアの病原体は原生動物のプラスモジウム属原虫です。

感染経路

- マラリア原虫を持つハマダラカ属の蚊に刺されることによって感染します。



潜伏期間

熱帯熱マラリア → およそ7~21日間

三日熱マラリア → およそ12~17日間

四日熱マラリア → およそ18~40日間

卵型マラリア → およそ16~18日間



ハマダラカ



症状

熱帯熱マラリア	毎日あるいは1日に複数回の不規則な 発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、筋肉痛、関節痛。
◆三日熱マラリア ◆四日熱マラリア ◆卵型マラリア	悪寒、震えと共に 体温の上昇が1~2時間続きます 。その後、悪寒は消えますが体温は更に上昇し、顔面紅潮、呼吸切迫、結膜充血、嘔吐、頭痛、筋肉痛などが4~5時間続きます。 これを熱発作といいます
熱発作の間隔	<ul style="list-style-type: none">三日熱マラリア 始め毎日。 その後1日おき。四日熱マラリア 始め毎日。 その後2日おき。卵型マラリア 始め毎日。 その後1日おき。

予防法

- 蚊に刺されないようにする。ハマダラカ属の蚊は夕刻から夜が活動時間帯です。
- 衣服は長袖、長ズボン(できれば白っぽい色の厚手)などで肌の露出を少なくする。
- 網戸、蚊帳を用いたり、昆虫忌避剤、殺虫剤、蚊取り線香などを使用する。
- 予防内服薬がありますが、薬剤に耐性のあるマラリアの存在などがあり、現地のマラリア汚染状況などによって決める必要があります。
- 予防内服薬は、下記の2項目両方に該当する場合に強く勧められます。
 - ① **熱帯熱マラリアの高度流行地域に旅行する。**
サハラ以南アフリカ、パプアニューギニア、ソロモン諸島、南米アマゾン川流域など。
 - ② **マラリア発症後に適切な医療が受けられない。**
日本で予防薬として認可されているのは、メフロキンだけです。
※殺虫剤等で、ガス式、ポンプ式のもの機内への持ち込みの制限があります。

